

だい かい 第 22 回とやまアビリンピック 2024

もっこう きょうぎかだい 「木工」競技課題

つぎ ちゅういじこうおよ しょう したが しきゅう ざいりょう もち かだいず しめ さくひん
次の注意事項及び仕様に従って、支給された材料を用いて、課題図に示す作品を
せいさく
製作しなさい。

1. 競技時間

ひょうじゆんじかん 標準時間	じかん 2時間
う き じかん 打ち切り時間	じかん ぶん 2時間30分

2. 注意事項

- (1) 使用工具及び使用機械は、別紙使用工具等一覧に示すものに限る。
ただし、墨付け用の型板(型紙)の使用は制限しない。
- (2) 全工程通じて、支援者は指示を可能とする。ただし指定線を越えない範囲での
こうとう しじ てぞ ちよくせつきょうぎ かいじょ
口頭による指示のみとし、手添えなどの直接競技にかかわる介助はできない。
- (3) 支給材料の寸法及び数量は「4. 支給材料」に示すとおりとする。
- (4) 支給材料に異常がある場合には、競技開始前に申し出ること。
- (5) 競技開始後に支給材料を交換しても競技時間の延長は行わない。
- (6) 競技者の仕損じにより、材料の再支給を行った場合は、減点対象とする。
- (7) 競技時間中に休憩やトイレに行っても、競技時間の延長は行わない。
- (8) 競技中の工具の貸し借りは禁止する。
- (9) 競技時の服装は、競技に適したものであること。
- (10) 機械作業を行う場合は、競技委員の指示に従うこと。また、手袋の使用は禁止する。
- (11) 標準時間内に競技を終了しなかった場合は、超過時間に依りて減点する。
ただし、打ち切り時間以降は未完成とし、採点は行わない。
- (12) 課題が完成したら競技委員に申し出ること。

3. 仕様

- (1) 側板は底板を入れるための段欠き加工をしたものを支給するが、底さらいは競技者が
おこな
行う。

- (2) 釘打ちのためのダボ穴あけ作業は、競技者自身が卓上ボール盤を使用して行う。
 穴の深さは、競技委員が競技開始前に設定する。
- (3) 仕上げがけは行わず素地仕上げとする。
- (4) 指定された面以外は、すべて糸面取りとする。
- (5) 釘を隠すためのダボ埋めは行わない。
- (6) 組立ては接着剤を用いる。

4. 支給材料

NO	部品名	寸法 (mm)			すりょう数量	備考
		なが長さ	はば幅	あつ厚さ		
1	ほんたいがわいた 本体側板	364	75	12	2	
2	ほんたいがわいた 本体側板	262	75	12	2	そこいたぶぶん 底板部分の段欠き加工済み
3	そこいた 底板(汁合板)	355	265	4	1	ていどおお 1 mm程度大きいものを支給
4	ふたざい 蓋材	364	274	12	1	
5	ふたうらさん 蓋裏棧	250	10	6	2	
6	てつくぎ 鉄釘	25			10	
7	しんちゅうくぎ 真鍮釘	16			6	ふたうらさんよう 蓋裏棧用 まるあたま 丸頭
8	てつくぎ 鉄釘	16			16	そこいたよう 底板用
ほんたいがわいた ふたざい ふたうらさん さいしつ ほうのき そうとうひん 本体側板・蓋材および蓋裏棧の材質は、朴木または相当品。						

もっこう しょうこうぐとういちらん
「木工」 使用工具等一覧

1. 1. きょうぎしゃ じさん
競技者が持参するもの

NO	ひん せい 名	き かく 規 格	すうりょう 数量	び こう 備 考
1	りょうば 両刃のこぎり	240 ~ 270 ていど 程度		たて よこび せんよう 縦・横引き専用のこぎりも可
2	どうつき 胴付のこぎり	210 ~ 240 ていど 程度		
3	ひら 平かな			
4	き めん 切り面かな			ひら だいようか 平かな代用可
5	おい おお いれ 追(大)入のみ	9~36	てきぎ 適宜	
6	つ 突きのみ	9~24	てきぎ 適宜	
7	ものさし	450~600		さしがね、まきじゃく さしがね、巻尺も可
8	ちよっかくじょうぎ 直角定規	200程度 ていど		
9	げんのう かなづち 玄能(金槌)	しょうまた ちゅう 小又は中		
10	くぎし 釘締め			
11	て きり 手もみ錐	よ めきり 四つ目錐		
12	えんぴつ 鉛筆		てきぎ 適宜	すみつ よう 墨付け用
13	け 消しゴム		てきぎ 適宜	
14	のりべら			ブラシも可 か
15	はたがね 端金	450程度 ていど	くみ 1組	
16	う ちあて 打ち当て		てきぎ 適宜	はたがね あ ぎ しょう 端金の当て木にも使用
17	こぐちだい 木口台			
18	す だい 摺り台			
19	ひ あ じょうぎ 引き当て定規			
20	け ひ 毛引き			すじ かまけ ひ 筋・鎌毛引きをとわない
21	しらが 白書き			
22	もっこうようせつちやくざい 木工用接着剤		じゃっかん 若干	くみた よう 組立て用
23	サンドペーパー	#180番程度 ばんていど	じゃっかん 若干	あ ぎ ふく 当て木を含む

ちゅう どうしゅ
注1 同種のものについては、予備工具を持参してもよい。

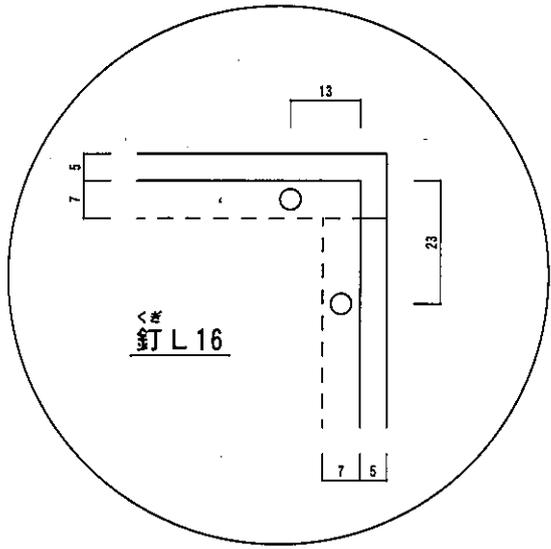
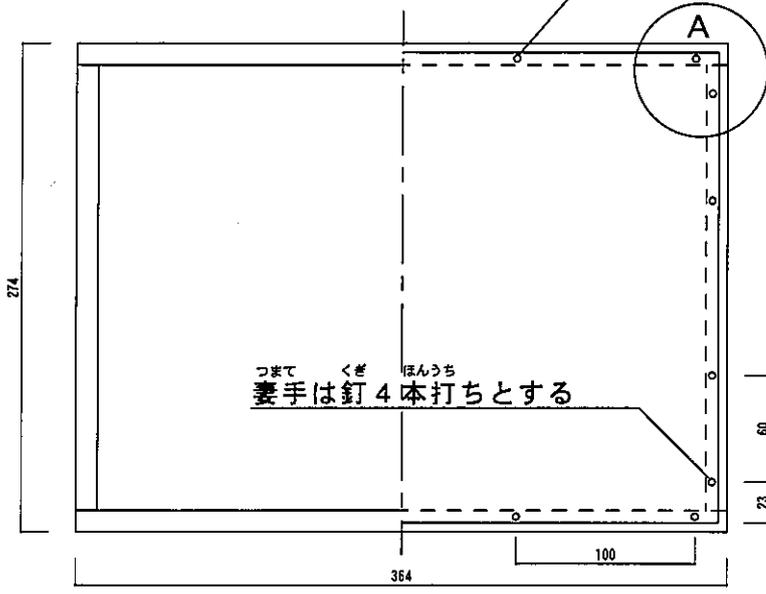
ちゅう いちらんひょう きさい てい きょうぎしゃ ひつよう ほんだん こうぐ じさん
注2 一覧表に記載されていても、競技者が必要ないと判断した工具については、持参しなくてもよい。

2. 競技会場に準備してあるもの

NO	品名	規格	備考
1	作業台(立式)	1800 × 900 × 700 程度	1名で1台使用
2	卓上ボール盤	6 mmきり付き	1台
3	クランプ		
4	バケツ		
5	ブラシ		はみ出た接着剤の洗い落とし用
6	ウエス		
7	くぎ抜き		

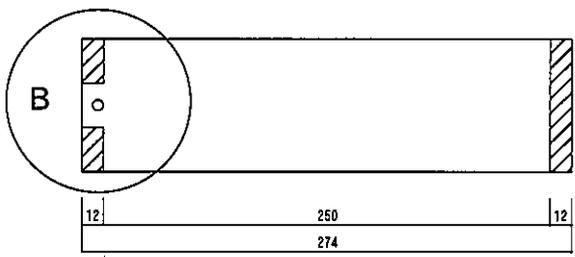
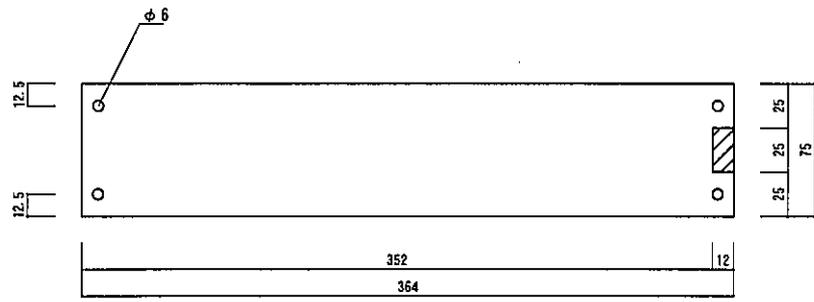
かだいず はこぶぶん
課題図 (箱部分)

ながて くぎ ほんうち
 長手は釘4本打ちとする



へいめんず
平面図 S=1/3

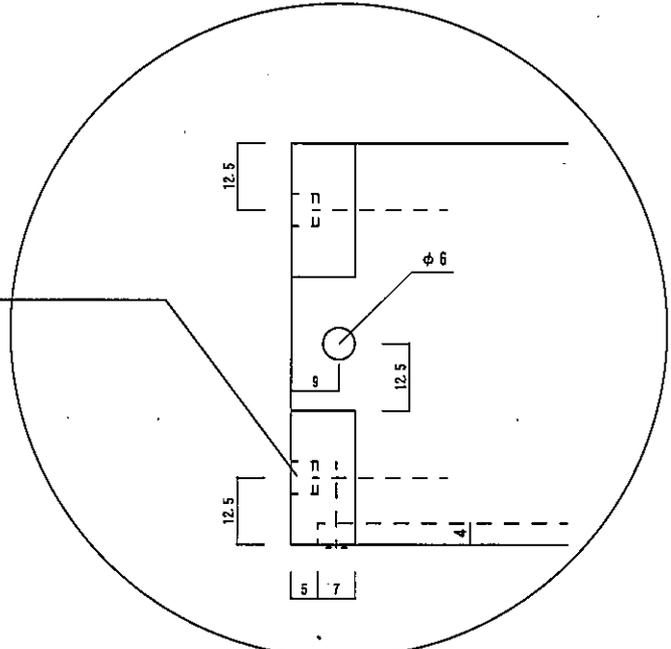
ぶぶん しょうさいず
A部分詳細図 S=1/1



ながて そくめんず
長手側面図 S=1/3

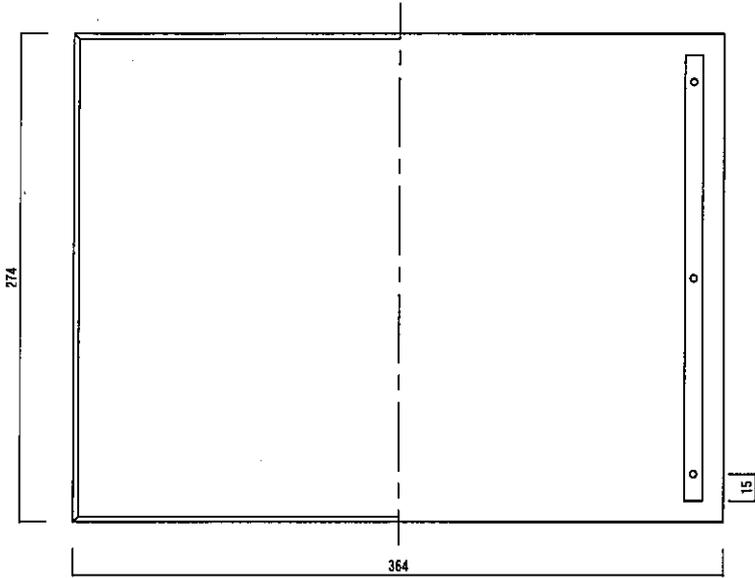
つまで そくめんず
妻手側面図 S=1/3

くぎう だぼ う
 釘打ちダボ埋めなしとする

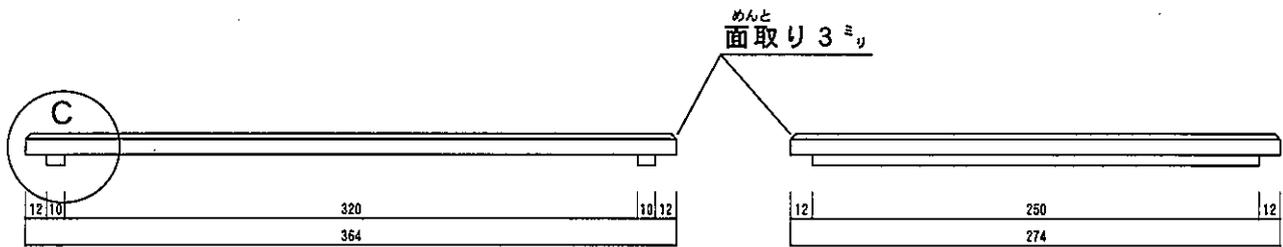


ぶぶん しょうさいず
B部分詳細図 S=1/1

かだいず てんがいぶぶん
課題図 (天蓋部分)

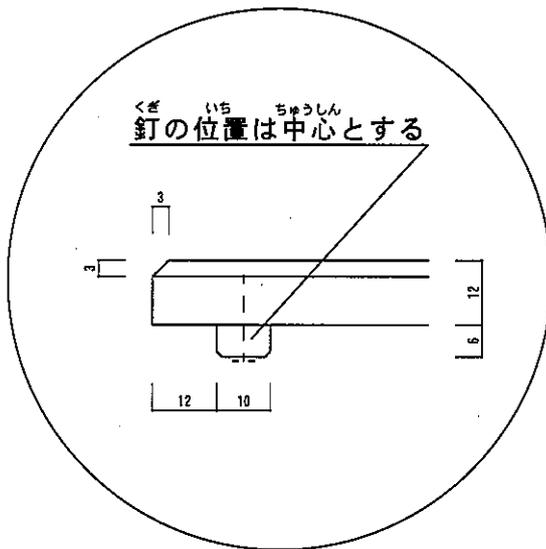


へいめんず
平面図 S=1/3



ながて そくめんず
長手側面図 S=1/3

つまて そくめんず
妻手側面図 S=1/3



ぶぶん しょうさいず
C 部分詳細図 S=1/1